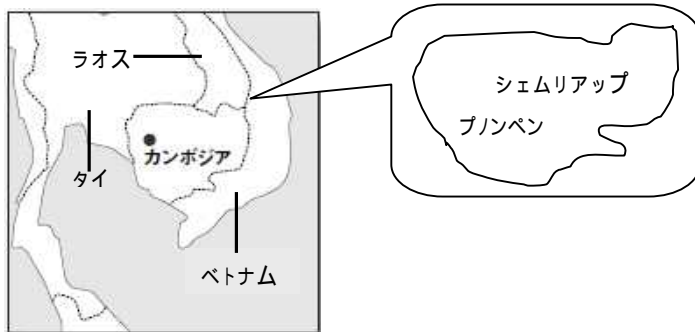


カンボジア・アンコール・プロジェクト

～ 水上寺子屋で夜の識字クラスを開始～



発電機で明かりを灯したチョンクニア・コミュニティ(7村から成る)の水上寺子屋で、夜の識字教室が始まりました。初日の10月2日には、予想以上の受講希望者が集まり、総生徒数は55名、年齢層は10代後半が多く、最年長の生徒は40歳の男性でした。

生徒全員に聞き取り調査を行い、「識字を生まれて初めて習う組」と「公立校をドロップアウトしたため再度履修を希望する組」との二クラスに分けることになり、正式な授業は10月3日からスタート。クラスは週6回、月曜日から土曜日の毎晩7時～9時まで、6カ月にわたって行われる予定です。



先生は地元のチョンクニアから選ばれた二人で、テキストはUNESCOで作成した教科書(全3巻)を使います。「識字クラスを卒業すれば、公立校への編入試験を受けます。受ければ公立校に編入できます」というシエムリアップ州教育局ノンフォーマル教育課長のオウセさんからの励ましの言葉に、皆、瞳をキラキラさせていました。



6カ月後、何人が卒業証書を手にするのか今から楽しみです。